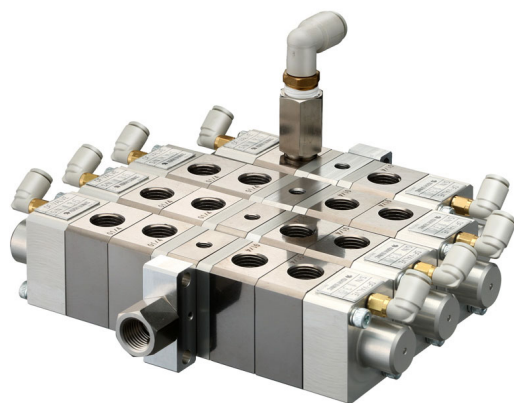


取扱説明書

カラーチェンジバルブ

CCV2PA/CCV2PS

CCV3PA/CCV3PS



この説明書には、重要な警告や注意事項が記載されています。
本機を使用される前に、必ずよく読んでください。

この説明書は、製品を廃棄するまでは、必ずお手元に保管し、
紛失・汚損した場合は、販売店または当社までご請求ください。

はじめに

このたびは、当社製品カラーチェンジバルブ CCV2PA,CCV2PS,CCV3PA,CCV3PS をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機を長くご愛用賜り、常に最適な条件でお使いいただくために、ご使用される前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。とくに仕様に定められた諸項目・警告・禁止事項や注意事項を十分ご理解され、その正しい使用方法に従った使い方をさせていただきますよう、お願い申し上げます。

この取扱説明書で扱われている装置は、塗装業務用途のものです。この取扱方法や使用範囲について、正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の方は使用しないでください。

この取扱説明書の内容でご不明な点がございましたら「型式」「製造番号」を明示の上、裏表紙記載の当社までお問い合わせください。

この取扱説明書は製品を破棄するまでは必ずお手元に保管し、紛失・汚損した場合は、販売店または当社までご請求ください。

目次

1	安全に正しくご使用いただくために	1
2	仕様	3
3	機器の設置	5
4	保守および点検	8
5	構成部品	12
6	保証書	21

《製品に適した使用範囲》

この取扱説明書の対象となる製品は、

カラーチェンジバルブ CCV2PA,CCV2PS,CCV3PA,CCV3PS です。

※本書において、(S)等の表記は接液金属がステンレスの仕様を表します。

本取扱説明書の内容を良くご理解頂き、必ず取扱方法を遵守してください。



この取扱説明に抛らないで使用すると、**人体の傷害や器物の損壊**を招くおそれがあります。

本書に示す安全対策は、一般に共通する必要最小限のものであり、これ以外の対策が不要だということではありません。

例えば、法律や条例で定められている事項や、企業や事業所ごとに定められている規則などについて、従う義務があります。

以下に述べる安全についての注意事項は、当社製品のご使用に際し最小限の基本的な安全対策とと考えてください。

●注意事項は、次の3段階に区分して表示してあります。

 警告	人体の傷害を招くような状況について注意を喚起し、その回避方法を示すものです。
 注意	機器の損壊をもたらすような状況について注意を喚起し、その回避方法を示すものです。
注記	重要な方法または役に立つ情報を表示するものです。

※また、注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全と機器の故障を予防するための重要な内容が記載されていますので、必ず遵守してください。



警告

製品に適した使用範囲

- 作動エア、使用塗料は、仕様に定められた範囲のものを供給してください。
仕様外の入力により機器の故障、破損、誤作動のおそれがあります。
- 酸や発錆性の材料やハロゲン化炭化水素系の溶剤を絶対に使用しないでください。
機器の爆発、火災、誤作動、および故障のおそれがあります。
- この製品の使用目的、使用塗料について少しでも疑問のある場合は、当社にご相談ください。
- 上記以外の条件でご使用になる場合は、当社の別段の承認がある場合を除き、全て不適正使用となります。

《安全についての一般的注意》

- 仕様に明記されている最高液圧力、最高エア圧力以上を絶対に装置にかけないでください。
また、その他の全ての構成部品や付属品が、上記の最高稼働圧力に耐えるものを使用してください。
- この装置は必ずD種接地（100Ω以下の電気抵抗値の確保）を行ってください。
但し、電氣的絶縁の必要な塗装ラインに限り、システムの安全基準に沿って対処してください。
- 異常が見つかった場合、指定された保守作業範囲であれば必要に応じた修理、
または部品の交換を行ってください。
指定以外の保守作業範囲で異常が見つかった場合は、販売店および当社に修理を依頼してください。
- 装置を点検、修理する場合は、必ず塗料経路の洗浄を行い、全ての液圧力とエア圧力
（ゲージ圧等）をゼロにしてから行ってください。
- 安全にシステムを稼働させるため、全ての作業者は、この取扱説明書や各装置のラベル、全ての
塗装システムに関係する取扱説明書を読み、理解し適切な訓練を受けた者だけが作業を行って
ください。
- 国や自治体、消防法、電気設備技術基準などの安全関連の法規制に従って作業してください。

《安全な洗浄》

- 可燃性雰囲気（溶剤雰囲気）が充満しないように十分な換気を行ってください。
- 作業時は有機溶剤用防毒マスク、安全メガネ、防護服を着用してください。



注意

- 3Pバルブのオペレートエア圧力は、0.4MPa以下にならないようにしてください。
循環口側のシートを押付ける力が不足し、経路の切替え不良になります。
- シンナ、塗料のかかる場所に設置しないでください。
- ゴミや金属片がバルブ内に流入しないようにしてください。
バルブシート不良、ダイヤフラム破損の恐れがあります。

2

仕様

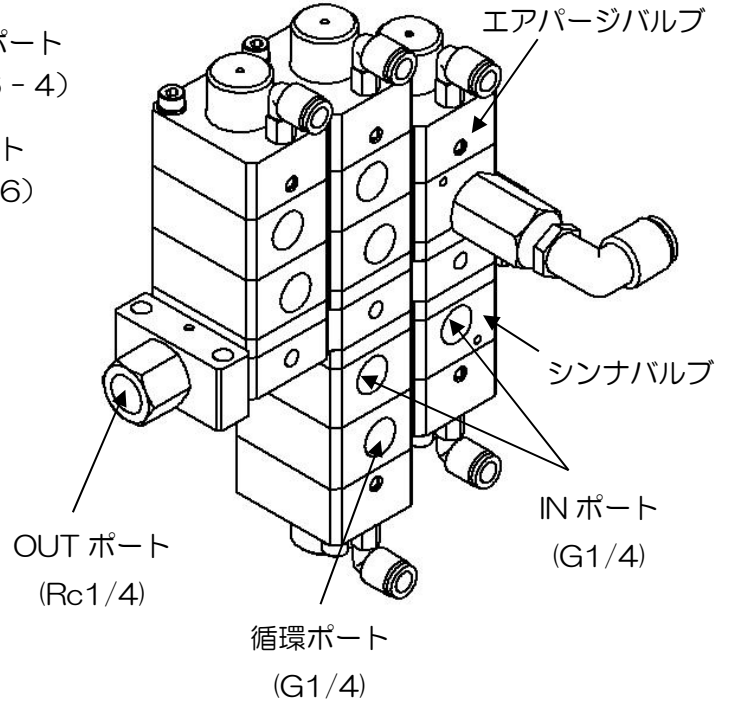
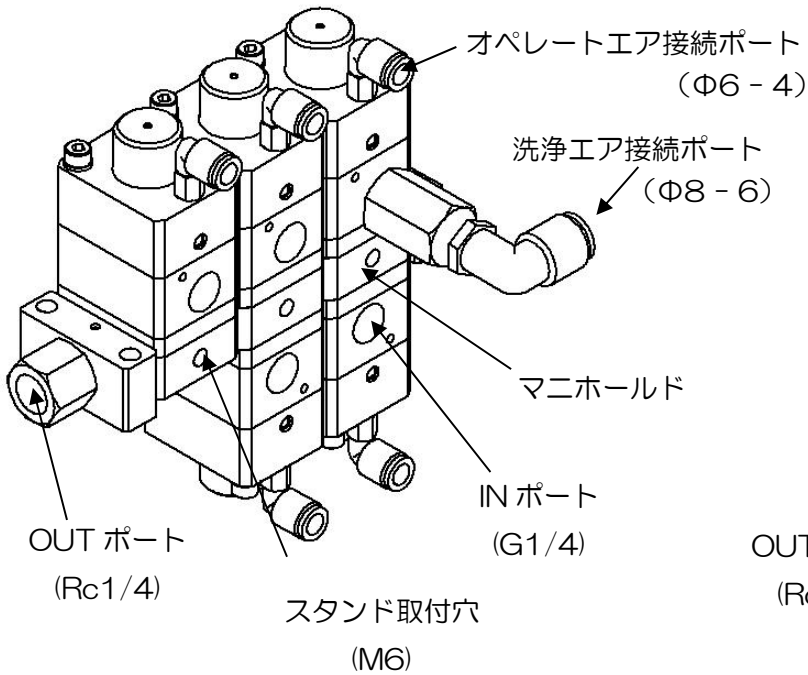
2.1 CCV

《2P バルブ仕様: CCV2PA,CCV2PS》

例：循環なし3色の場合

《3P バルブ仕様: CCV3PA,CCV3PS》

例：循環あり3色の場合



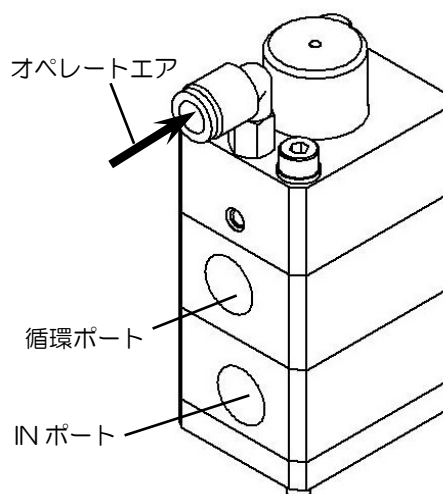
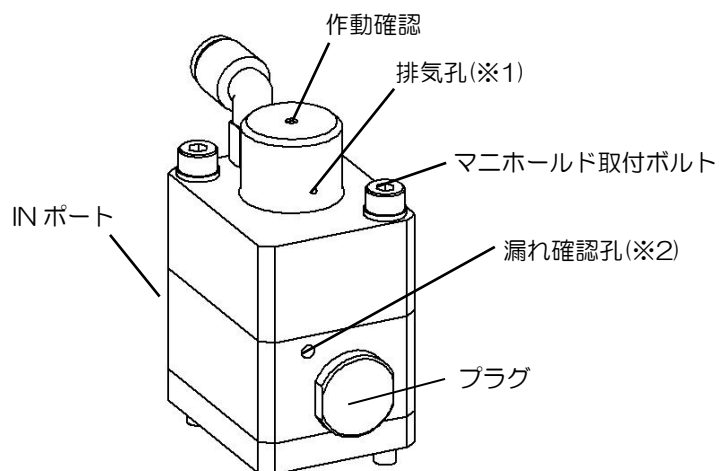
搭載バルブ仕様	2Pバルブ仕様		3Pバルブ仕様	
名称	CCV2PA	CCV2PS	CCV3PA	CCV3PS
品番	0850 - □	0851 - □	0852 - □	0853 - □
接液金属仕様	アルミ	ステンレス	アルミ	ステンレス
オペレートエア圧力	0.3~0.5MPa		0.4~0.5MPa	
使用流体圧力	0~1.2MPa			
最大流量	1500mL/min (塗料圧力0.5MPa 粘度80mPa・s=約30秒/FC#4)			
塗料経路径	φ5.5mm(バルブ口径φ4mm)			
使用流体温度	0~40℃			
使用流体粘度	15~300 mPa・s			
推奨洗浄エア風量(※)	60L/min 以上 ※ベルガン併用時は、ガンの仕様を遵守のこと。			

※品番の“□”に入る数字は P.12~13をご参照ください。

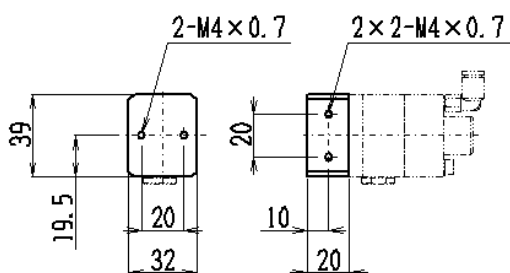
2.2 バルブ単体

《2PバルブDFA,2PバルブDFS》

《3PバルブDFA,3PバルブDFS》



単体用マニホールド取付穴位置



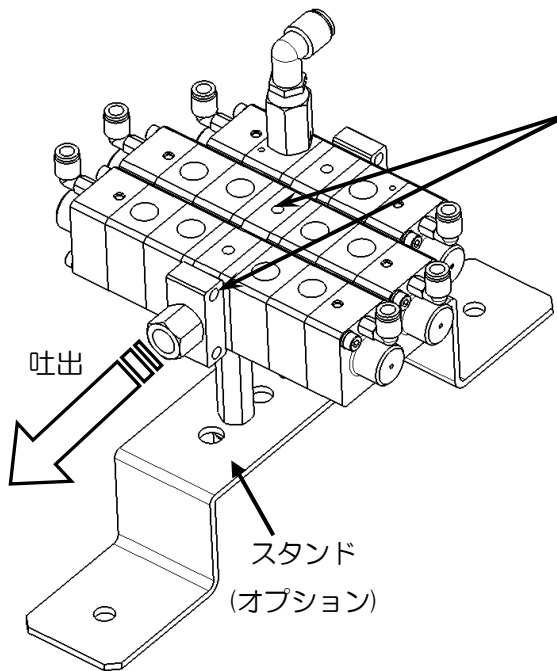
※1：塗料汚れなどで排気孔が塞がらないようにしてください。

※2：M3のバブ継手（品番342-0209）を接続し、φ4×2.5のチューブを接続可能。

名称	2PバルブDFA	2PバルブDFS	3PバルブDFA	3PバルブDFS
型式	2PV-A	2PV-S	3PV-A	3PV-S
接液金属仕様	アルミ	ステンレス	アルミ	ステンレス
質量	180g	230g	220g	375g
外径寸法	高さ65mm×幅31mm×奥行39mm		高さ85mm×幅31mm×奥行39mm	
液体圧力	0~1.2MPa			
オペレート圧力	0.3~0.5MPa		0.4~0.5MPa	
最大流量	1.5L/min(30sec/FC#4, 0.5MPa)			
Cv値	0.6			
ポート口径	G1/4(PF1/4)			
塗料出口径	φ4mm			
オペレート口径	外径φ6mm ジョイント取付け部側M5×0.8			
供給エア条件	固形粒子サイズ：0.1μm以下 油残量：0.01mg/m ³ 以下 水分量：0.5g/m ³ 以下			
使用流体温度	0~40℃			
使用流体粘度	25~300 mPa·s			

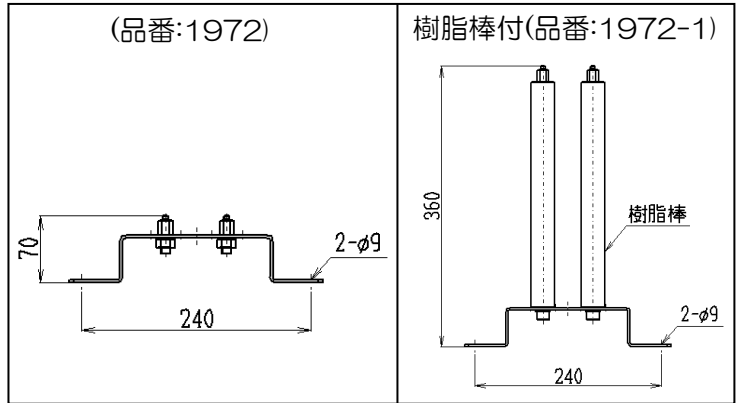
3

機器の設置

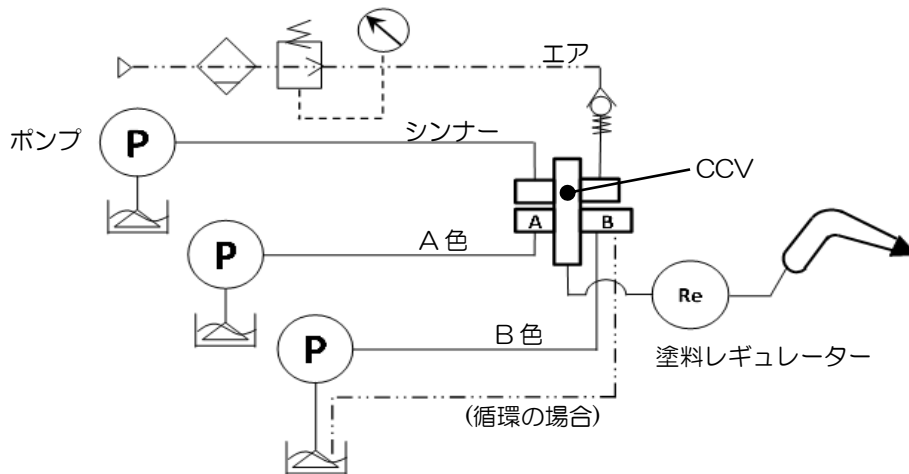


マニホールド側面の
M6×1.0 深さ 6mm のボルト穴(穴ピッチ 32mm)
又は前後プレート貫通穴(φ5.5)を利用し
スタンドへ取付けてください。

スタンド



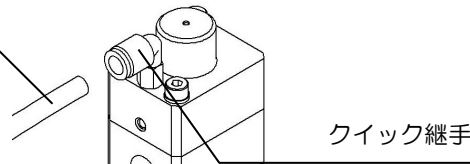
3.1 接続例



3.2 オペレートエアの接続

エアチューブをクイック継手に接続します。

φ6mm エアチューブ



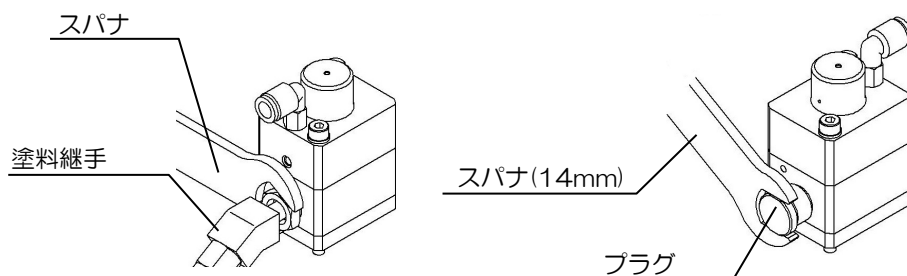
⚠ 注意

一度エアで作動させたバルブはエア源を断ち、シリンダ内部のエアを排気するまで閉じません。
必ず排気機能の有る電磁弁等をエア源としてください。

3.3 塗料ホースの接続

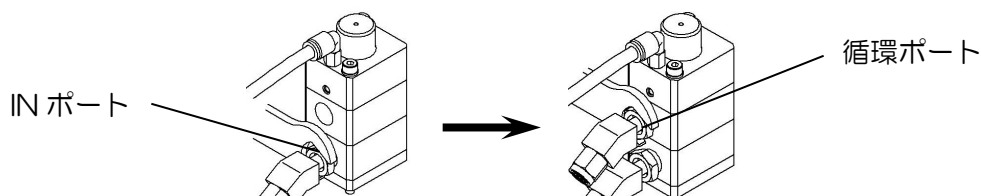
《2Pバルブ DFA,2Pバルブ DFS》

- 塗料継手をバルブ側面のポート(G1/4)に取付けます。
- 循環仕様の場合はプラグを外しポート(G1/4)に塗料継手を接続します。



《3Pバルブ DFA,3Pバルブ DFS》

- 塗料供給装置側の塗料継手をバルブ側面のINポートに取付けます。
- 塗料循環経路側の塗料継手をバルブ側面の循環ポートに取付けます。



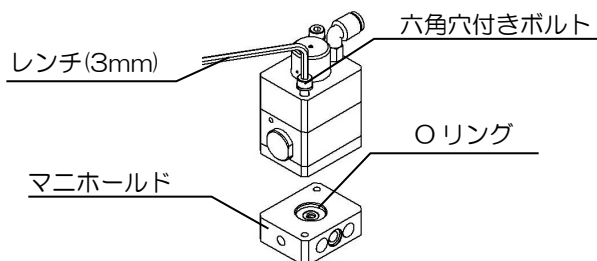
警告

塗料噴出による危険

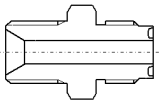
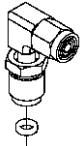
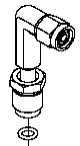
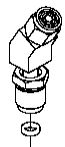
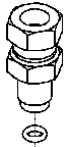
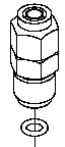
- 有機溶剤用防毒マスク、安全メガネ、防護服を着用してください。
- 塗料継手はモンキーレンチ、スパナ等を使用し確実に締付けてください。
また、スイベル式のエルボ継手はダブルスパナでホースの向きを固定し締付けてください。

3.4 マニホールドへ接続

マニホールドのOリング(130-2005)を確認し、六角穴付きボルト(03-80470)2本を締め付けます。



<対応塗料継手表>

品名	外観	品番	チューブ/ホースサイズ	ポートサイズ	仕様・備考	
ホースジョイント ストレート		342-0068	G1/4	G1/4	<ul style="list-style-type: none"> • Oリング別(品番 101-2006) • 材質: ステンレス • 耐圧 2.0MPa 	
スイングエルボ		342-0190	φ4-2.5			
		342-0191	φ6-4			
		342-0192	φ8-6			
		342-0193	φ10-8			
スイングエルボ L		342-0194	φ4-2.5			
		342-0195	φ6-4			
		342-0196	φ8-6			
		342-0197	φ10-8			
スイングエルボ 40		342-0198	φ6-4			
		342-0199	φ8-6			
		342-0200	φ10-8			
メスオスG 継手		342-0201	G1/4			
		342-0202	G3/8			
ホースジョイントG		342-0203	φ4-2.5			
		342-0204	φ6-4			
		342-0205	φ8-6			
		342-0206	φ10-8			
					<ul style="list-style-type: none"> • ガasket(品番 342-0212)付 • 材質: ステンレス • 耐圧: 2.0MPa 	
					<ul style="list-style-type: none"> • ガasket(品番 342-0210)付 • 材質: ステンレス • 耐圧: 2.0MPa 	

4

保守および点検

注意

バルブ、塗料継手及びマニホールドは、塗料等の汚れが無いように常にきれいに保ってください。
また、機械的衝撃を与えないように常に注意してください。
作動エア経路に溶剤が浸入し作動不良の原因となる為、バルブ本体を洗浄溶剤内に浸漬しないでください。

4.1 定期点検

本機の性能が充分発揮されるよう、表に従って定期的に点検を実施してください。

なお、点検時期は目安であり、使用状況により異なります。

項目	状態	処置	点検時期
ダイヤフラム点検	漏れ確認穴からの塗料漏れ	ダイヤフラムを新品に交換する。	随時
塗料シート点検	塗料シート漏れ ・塗料バルブ：色混じりの発生 ・シンナバルブ：洗浄シンナの混入 ・エアパージバルブ：洗浄バルブエアの混入	《2PV-A(S)》 シート、ヘッドを新品に交換する。 《3PV-A(S)》 シート、ヘッド、ロッドを交換する。	

4.2 消耗部品

下記消耗品リストのランク区分を参考に使用状況にあわせた予備品をご準備ください。

ランク区分	品番	品名	個数	備考
0845/0845-1				
A	0845-002	ヘッド	1	
	0845-009	シート	1	
B	0845-004	ダイヤフラム	1	
D	101-9005	Oリング	1	ピストン用Oリング
	101-6022	Oリング	1	ピストン用Oリング
	130-6024	Oリング	1	リティナ用Oリング
0846/0846-1				
A	0845-002	ヘッド	1	
	0845-009	シート	1	
	0846-004	シート	1	リターン側シート
B	0845-004	ダイヤフラム	1	
D	101-9005	Oリング	1	ピストン用Oリング
	101-6022	Oリング	1	ピストン用Oリング
	130-6024	Oリング	1	リティナ用Oリング

ランク A：日常的に消耗する部品

ランク B：中期的に消耗する部品

ランク C：使用時に破損・紛失する恐れのある部品

ランク D：分解時に交換が必要な部品

警告

塗料噴出による危険

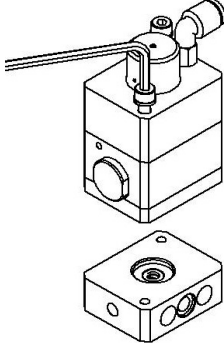
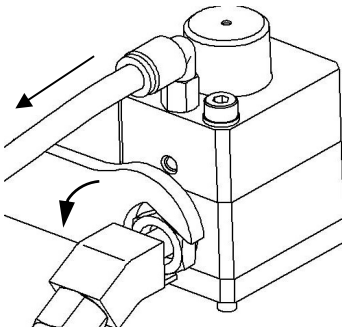
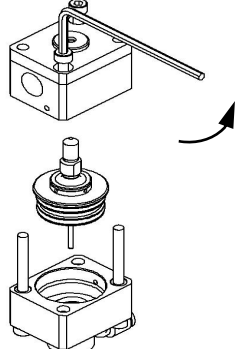
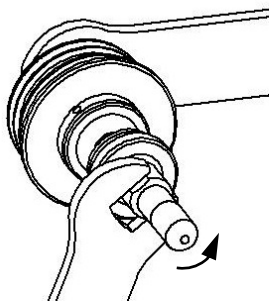
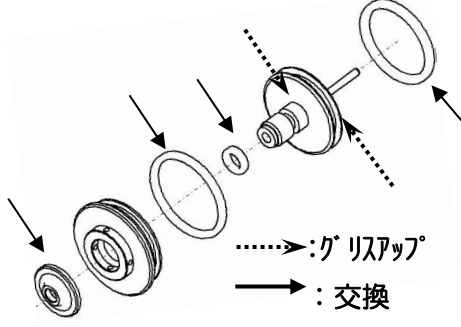

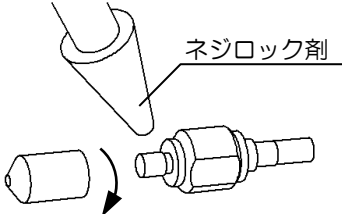
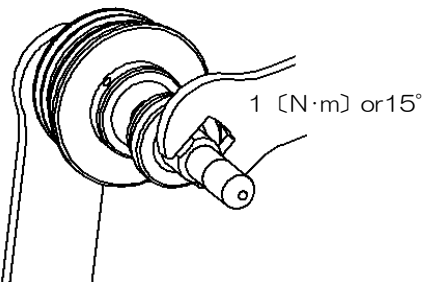
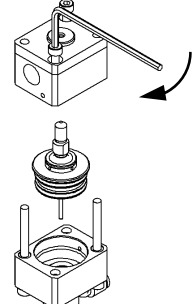
- ダイヤフラムは上記リストを遵守し、予防保全に努めてください。
- 漏れ確認孔を電気設備、火気や人に向けないでください。

4.3 部品交換

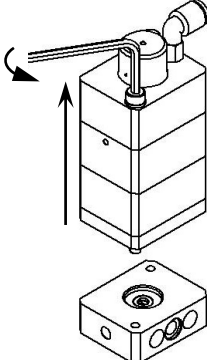
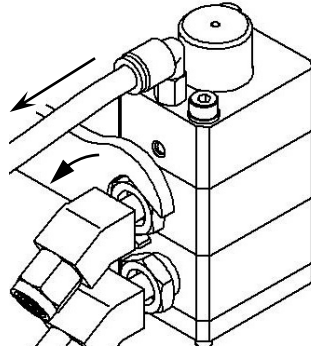
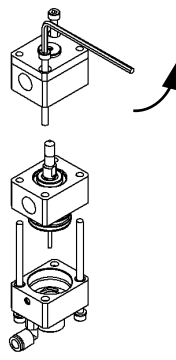
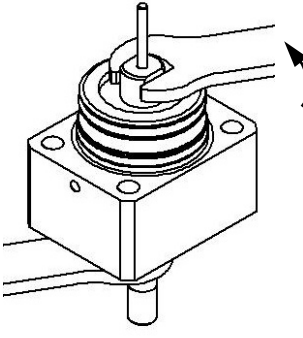
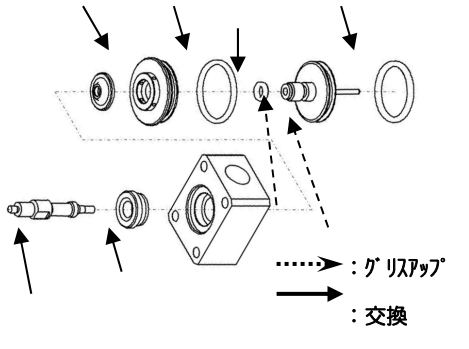
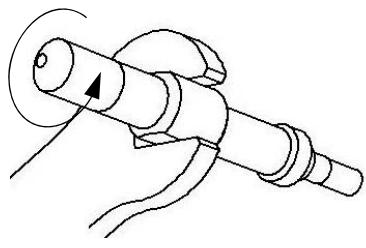
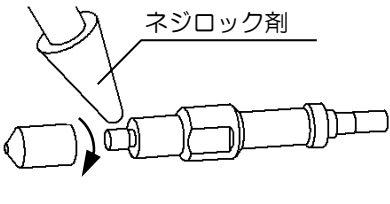
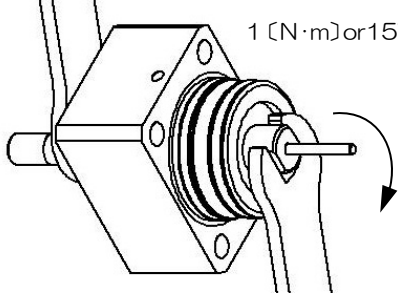
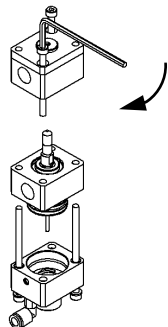
警告

塗装機の予期せぬ動作により人体への障害や事故に繋がる恐れがあります。
部品の交換、及び修理の際は、必ず塗料経路内の塗料を排出・洗浄、内部残圧を抜いた後、
バルブに供給されているオペレートエア圧力をゼロにした後実施してください。

《2PV-A(S)の分解組立》

		
<p>①液圧力、オペレートエア圧力をゼロにしてレンチ(3mm)を使用し六角穴付ボルトを2本緩めます。</p>	<p>②エアチューブを外しスパナ(14or17mm)を使用し塗料継手を外します。</p>	<p>③レンチ(3mm)を使用し六角穴付ボルト2本を交互に少しずつ緩めバルブを分解します。ピストンのグリスは布で拭き取ります。</p>
	 <p>.....:グリスアップ →:交換</p>	
<p>④スパナ(7mm)を使用しニードル2Pを分解します。</p>	<p>⑤ダイアフラム、シート、Oリングを交換します。Oリング用の溝はグリス(※1)を塗布します。</p>	<p>⑥ヘッドはロッドの二面幅(7mm)を固定しプライヤー等を使用して外します。</p>
 <p>ネジロック剤</p>	 <p>1 [N・m] or 15°</p>	
<p>⑦ヘッドのテーパ部を傷つけないようロッドにネジロック剤(※2)を塗布し手締にてヘッドを取付けます。</p>	<p>⑧ニードル2Pの組付けは、トルクレンチ(1N・m)で締めます。トルクレンチが無い場合はネジ部分が着座してから15°増締めします。</p>	<p>⑨分解時と逆手順で組付けます。作動確認用ピンの曲りを防止するため六角穴付ボルト2本を交互に少しずつ締付けます。</p>

《 3PV-A(S)の分解組立 》

		
<p>①液圧力、オペレートエア圧力をゼロにしてレンチ(3mm)を使用し六角穴付ボルトを2本緩めます。</p>	<p>②エアチューブを外しスパナ(14or17mm)を使用し塗料継手を外します。</p>	<p>③レンチ(3mm)を使用し六角穴付ボルト2本を交互に少しずつ緩めバルブを分解します。ピストンのグリスは布で拭き取ります。</p>
	 <p>..... : グリスアップ → : 交換</p>	
<p>④スパナ(7mm)を使用しニードル3PA(S)を分解します。</p>	<p>⑤ダイヤフラム、シート、ニードル、Oリングを交換します。Oリング用の溝はグリス(※1)を塗布します。</p>	<p>⑥ヘッドはロッドの二面幅(7mm)を固定しプライヤー等を使用して外します。</p>
 <p>ネジロック剤</p>	 <p>1 [N·m] or 15°</p>	
<p>⑦ヘッドのテーパ部分を傷つけないようロッドにネジロック剤(※2)を塗布し手締めにて取付けます。</p>	<p>⑧ニードル3PA(S)の組付けは、トルクレンチ(1N·m)で締めます。トルクレンチが無い場合はネジ部分が着座してから15°増締めします。</p>	<p>⑨分解時と逆手順で組付けます。作動確認用ピンの曲りを防止するため、六角穴付ボルト2本を交互に少しずつ締付けます。</p>

※1：推奨グリス・・・昭和シェル サンライトグリス2

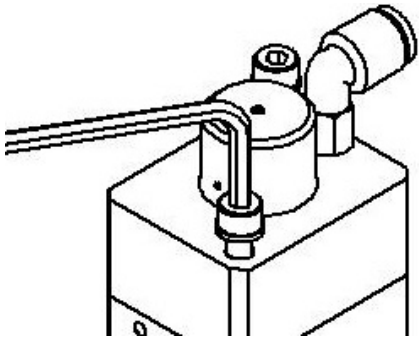
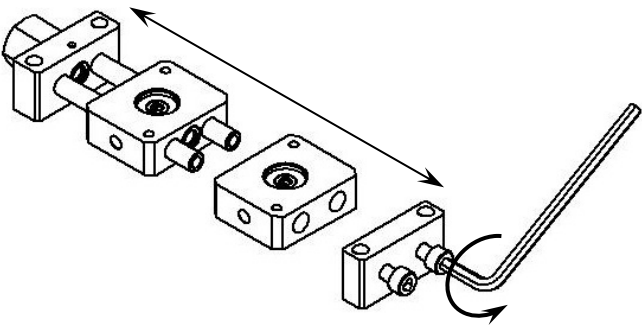
※2：推奨ネジロック剤・・・スリーボンド 1303B

※ 余分なネジロック剤は洗浄溶剤を染み込ませた柔らかい布等で拭き取ります。

警告

塗装機の予期せぬ動作により人体への障害や事故に繋がる恐れがあります。
部品の交換、及び修理の際は、必ず塗料経路内の塗料を排出・洗浄、内部残圧を抜いた後、
バルブに供給されている圧縮空気をOFFにした後実施してください。

《マニホールドの分解》

	
<p>① レンチ(3mm)を使用して六角穴付ボルトを外し、マニホールドからバルブを外します。</p>	<p>② レンチ(4mm)で六角穴付ボルト2本を外し、マニホールドを分解します。</p>

※ Oリングの紛失にご注意ください。

5

構成

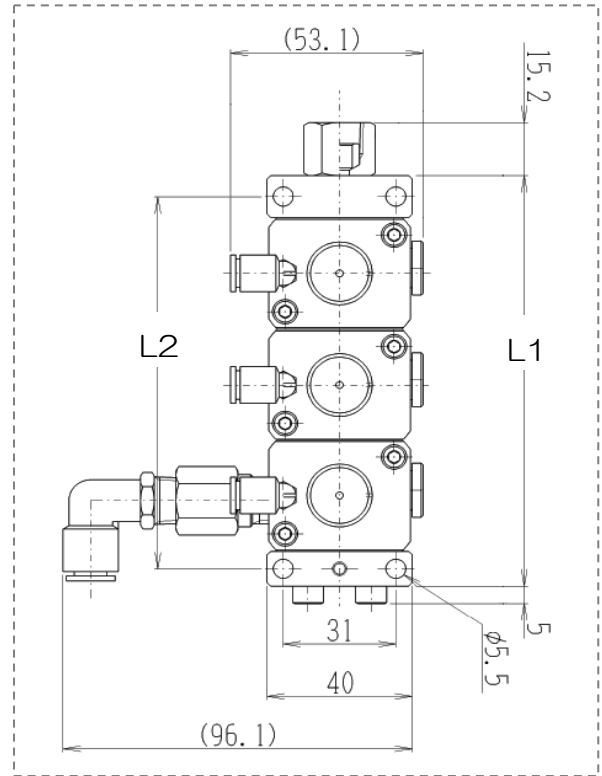
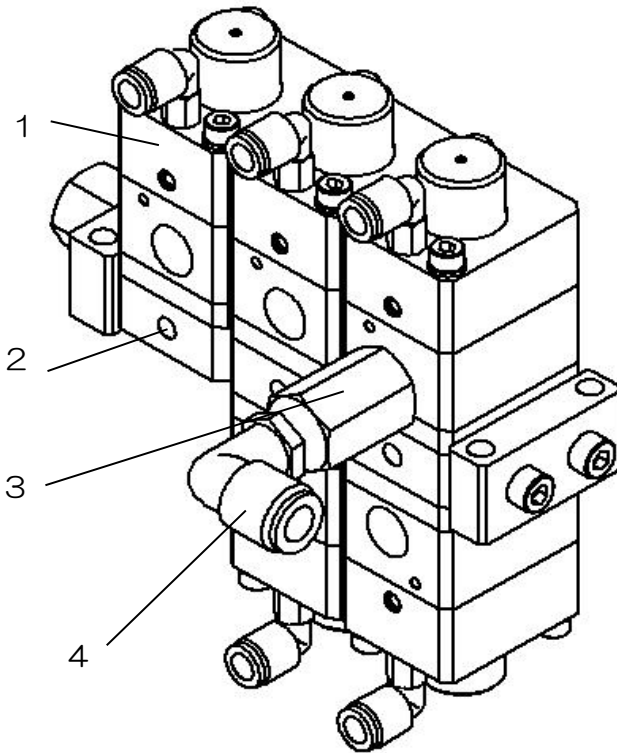
CCV2PA
0850 -□

CCV2PS
0851 -□

※品番の“□”に入る数字により、バルブ数、対応マニホールドが異なります。

下記型式表をご参照ください

(単位：mm)



<構成表>

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	-	右表参照
2	3808-□ (3810-□)	マニホールド	1	
3	3625	チェックバルブ	1	0850, 0851 には 付属しない
4	384-0802	クイック継手	1	

※①()内はステンレス仕様 0851-□用

②CCV2-20A,CCV2-20S は塗料バルブのみ

③マニホールド詳細については P.14 参照のこと

<型式表>

型式	部品番号	対応マニホールド 品番	L1 (mm)	L2 (mm)	バルブ数
CCV2-20A (CCV2-20S)	0850 (0851)	3808-2 (3810-2)	54	43	2
CCV1-30A (CCV1-30S)	0850-1 (0851-1)	3808-3 (3810-3)	86	75	3
CCV2-40A (CCV2-40S)	0850-2 (0851-2)	3808-4 (3810-4)			4
CCV3-50A (CCV3-50S)	0850-3 (0851-3)	3808-5 (3810-5)	118	107	5
CCV4-60A (CCV4-60S)	0850-4 (0851-4)	3808-6 (3810-6)			6
CCV5-70A (CCV5-70S)	0850-5 (0851-5)	3808-7 (3810-7)	150	139	7
CCV6-80A (CCV6-80S)	0850-6 (0851-6)	3808-8 (3810-8)			8
CCV7-90A (CCV7-90S)	0850-7 (0851-7)	3808-9 (3810-9)	182	171	9

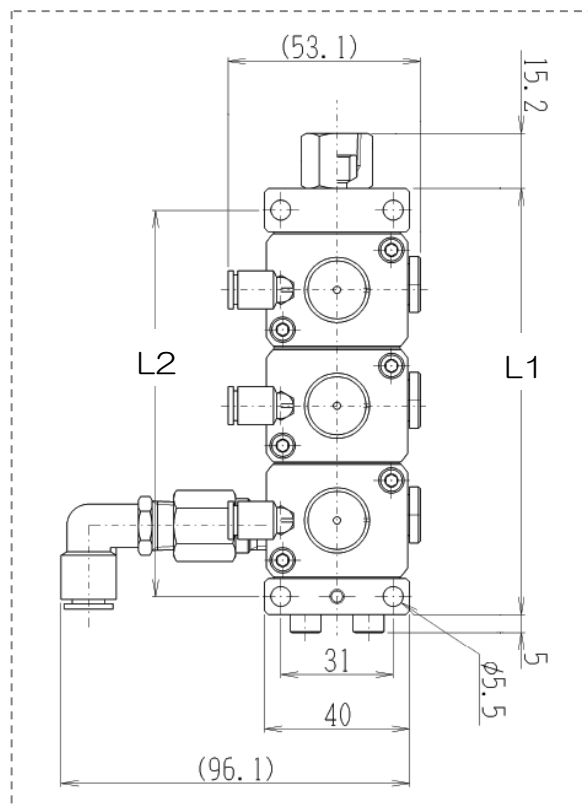
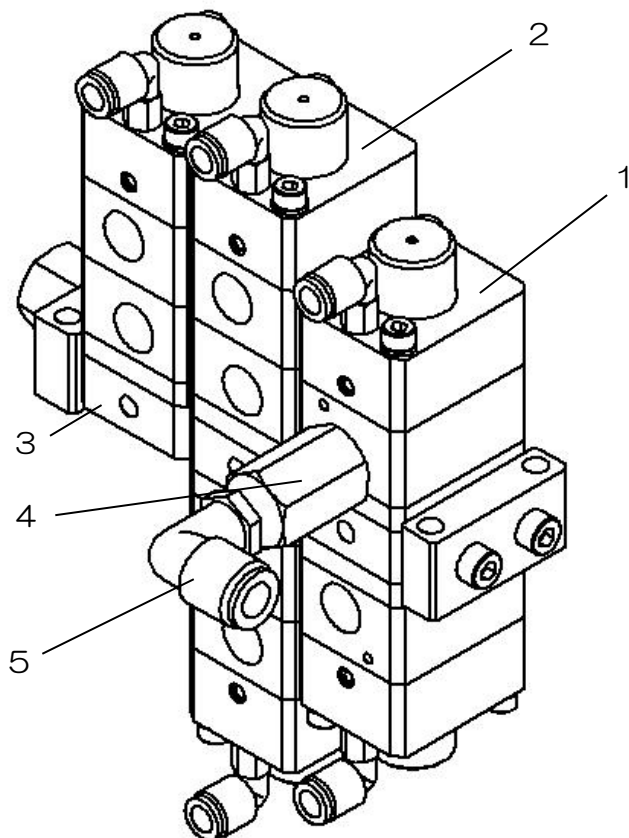
CCV3PA
0852 -□

CCV3PS
0853 -□

※品番の“□”に入る数字により、バルブ数、対応マニホールドが異なります。

下記型式表をご参照ください

(単位：mm)



<構成表>

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	-	右表 参照
2	0846 (0846-1)	3PバルブDFA (3PバルブDFS)	-	
3	3808-□ (3810-□)	マニホールド	1set	
4	3625	チェックバルブ	1	
5	384-0802	クイック継手	1	

※①()内はステンレス仕様 0853-□用

②CCV0-20A,CCV0-20S はエアシナ用
バルブのみ

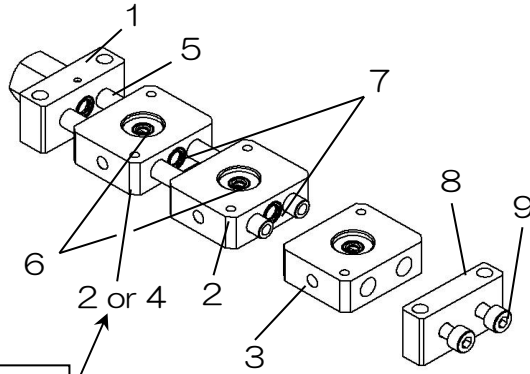
③マニホールド詳細については P.14 参照のこと

<型式表>

型式	部品番号	対応マニホールド 品番	L1 (mm)	L2 (mm)	2P バルブ (個数)	3Pバルブ (個数)
CCV0-20A (CCV0-20S)	0852 (0853)	3808-2 (3810-2)	54	43	2	0
CCV1-21A (CCV1-21S)	0852-1 (0853-1)	3808-3 (3810-3)	86	75		1
CCV2-22A (CCV2-22S)	0852-2 (0853-2)	3808-4 (3810-4)				2
CCV3-23A (CCV3-23S)	0852-3 (0853-3)	3808-5 (3810-5)	118	107		3
CCV4-24A (CCV4-24S)	0852-4 (0853-4)	3808-6 (3810-6)				4
CCV5-25A (CCV5-25S)	0852-5 (0853-5)	3808-7 (3810-7)				5
CCV6-26A (CCV6-26S)	0852-6 (0853-6)	3808-8 (3810-8)	150	139		6
CCV7-27A (CCV7-27S)	0852-7 (0853-7)	3808-9 (3810-9)			7	

マニホールド

3808-□
(3810-□)



P.15 マニホールドの構成参照

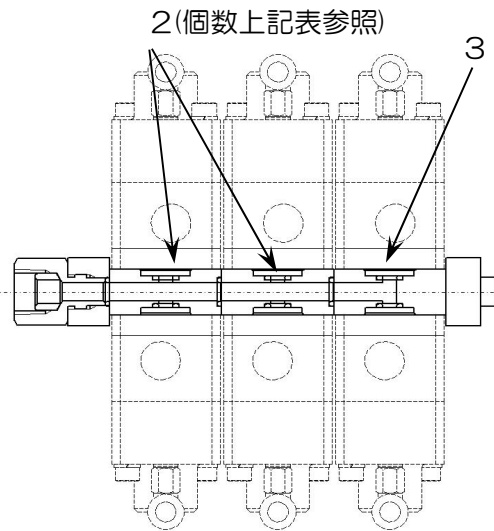
※品番の“□”に入る数字は搭載バルブ数を表します。下記表をご参照ください。

構成部品			搭載バルブ数(個)							
			2	3	4	5	6	7	8	9
No.	品番	品名	マニホールド品番							
			3808-2 (3810-2)	3808-3 (3810-3)	3808-4 (3810-4)	3808-5 (3810-5)	3808-6 (3810-6)	3808-7 (3810-7)	3808-8 (3810-8)	3808-9 (3810-9)
			部品数							
1	3808-001	プレートRCセット	1set							
2	3808-010 (3810-010)	マニホールドADM (マニホールドSDM)	-	-	1	1	2	2	3	3
3	3808-011 (3810-011)	マニホールドADE (マニホールドSDE)	1							
4	3808-012 (3810-012)	マニホールドASM (マニホールドSSM)	-	1	-	1	-	1	-	1
5	3808-041	パイプ1	2	-	-	-	-	-	-	-
	3808-042	パイプ2	-	2		-	-	-	-	-
	3808-043	パイプ3	-	-	-	2		-	-	-
	3808-044	パイプ4	-	-	-	-	-	2		-
	3808-045	パイプ5	-	-	-	-	-	-	-	2
6	130-2005	Oリング	2	3	4	5	6	7	8	9
7	130-2006	Oリング	-	1		2		3		4
8	3808-021	プレートE	1							
9	03-80515	六角穴付きボルト	2							

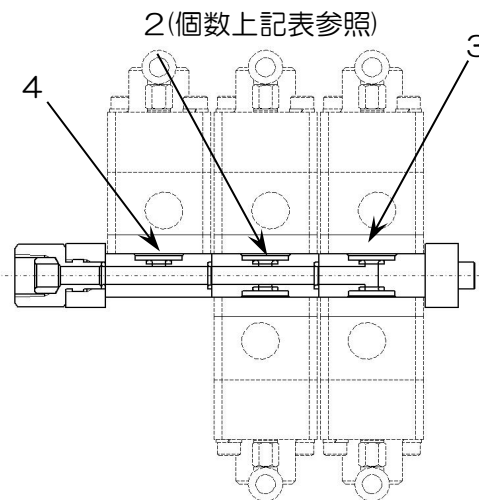
※()内はステンレス仕様

《マニホールドの構成》

・搭載バルブ数 2・4・6・8 個の時

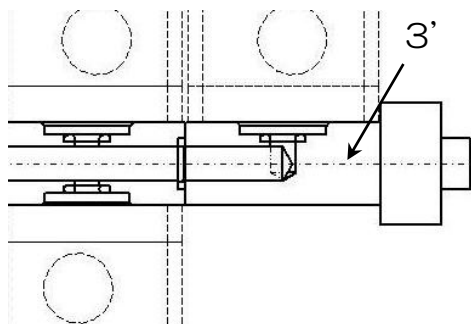


・搭載バルブ数 3・5・7・9 個の時



・3の位置のバルブ数を1個に変更する時

3を3' (オプション) のマニホールドに交換してください。

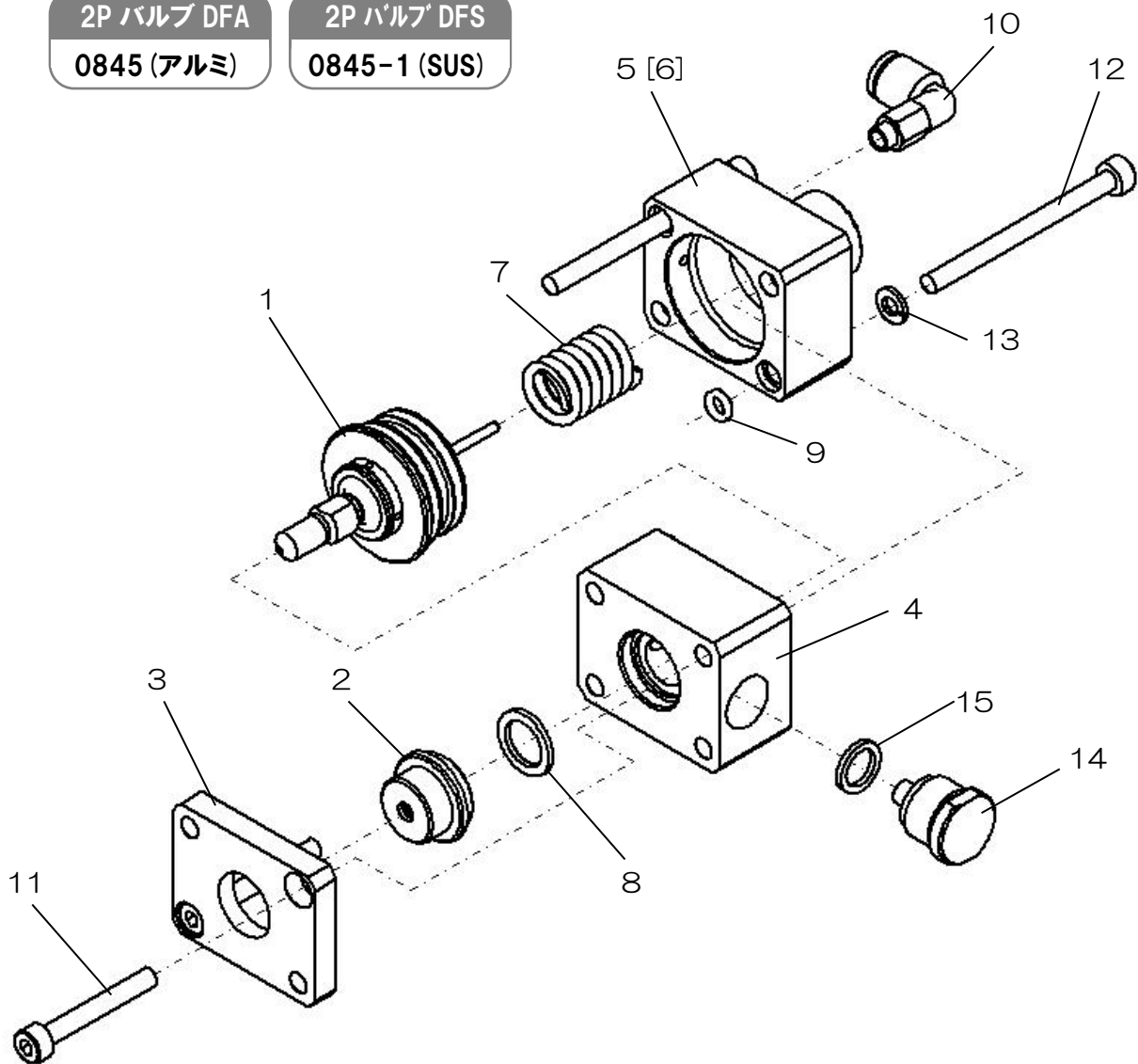


番号	部品番号	品名
3'	3808-013 (3810-013)	マニホールド ASE (マニホールド SSE)

※()内はステンレス仕様

2P バルブ DFA
0845 (アルミ)

2P バルブ DFS
0845-1 (SUS)



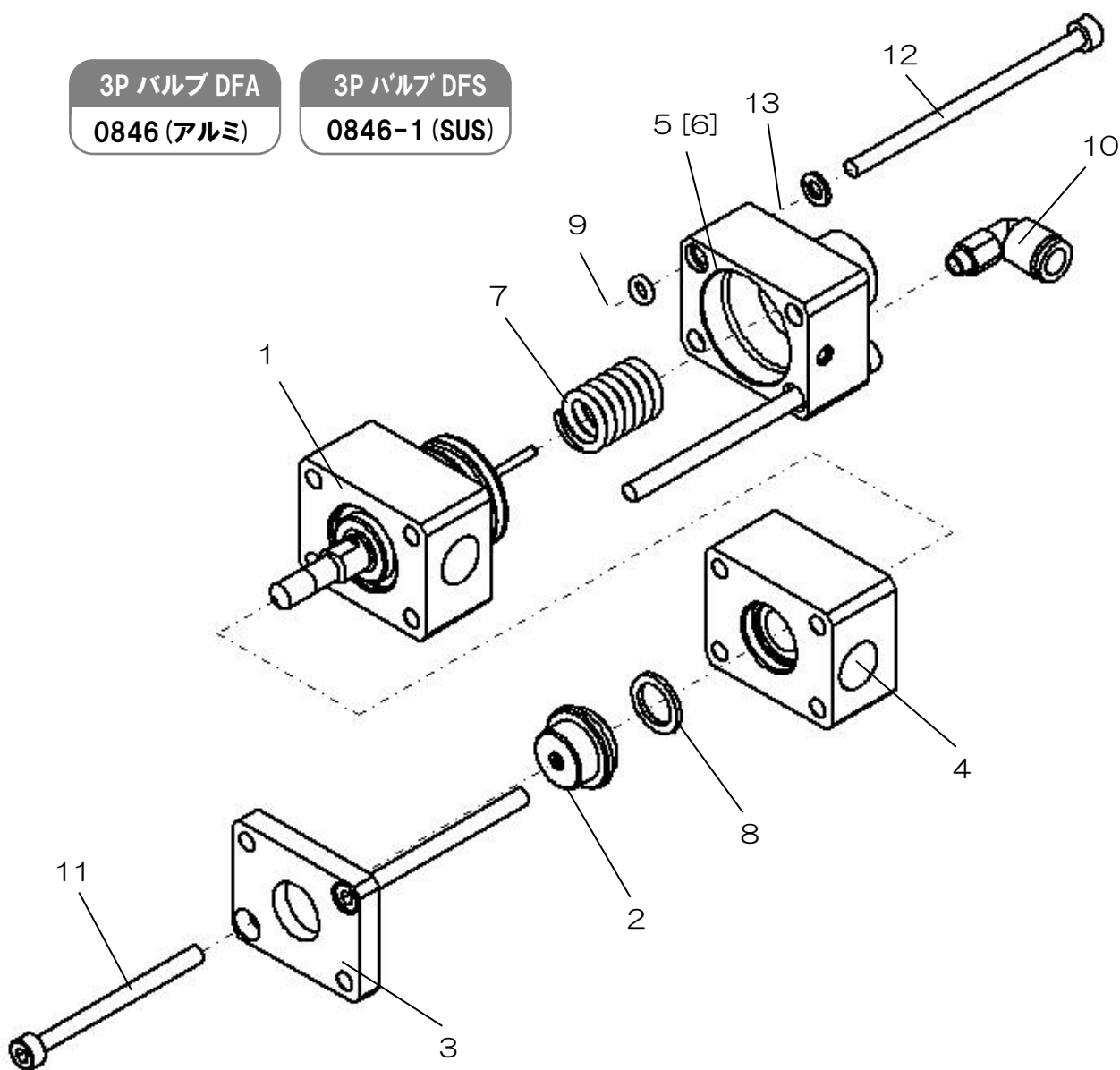
番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845-001	ニードル2P	1	
2	0845-009	シート	1	
3	0845-010	ハウジング	1	
4	0845-011 (0845-111)	ボディ A (ボディ S)	1	
5	0845-012	シリンダ	1	
6	0845-013	銘板	1	
7	1294-014	スプリング	1	
8	155-2010A	バックアップリング	1	

番号	部品番号	品名	個数	備考
9	130-6004	Oリング	2	
10	384-0600	クイック継手	1	
11	03-80430	六角穴付ボルト	2	
12	03-80450	六角穴付ボルト	2	
13	41-80400	ハネ座金	2	
14	0845-014	プラグ	1	
15	155-2008	バックアップリング	1	

※ () 内はステンレス仕様 0845-1 用

3P バルブ DFA
0846 (アルミ)

3P バルブ DFS
0846-1 (SUS)



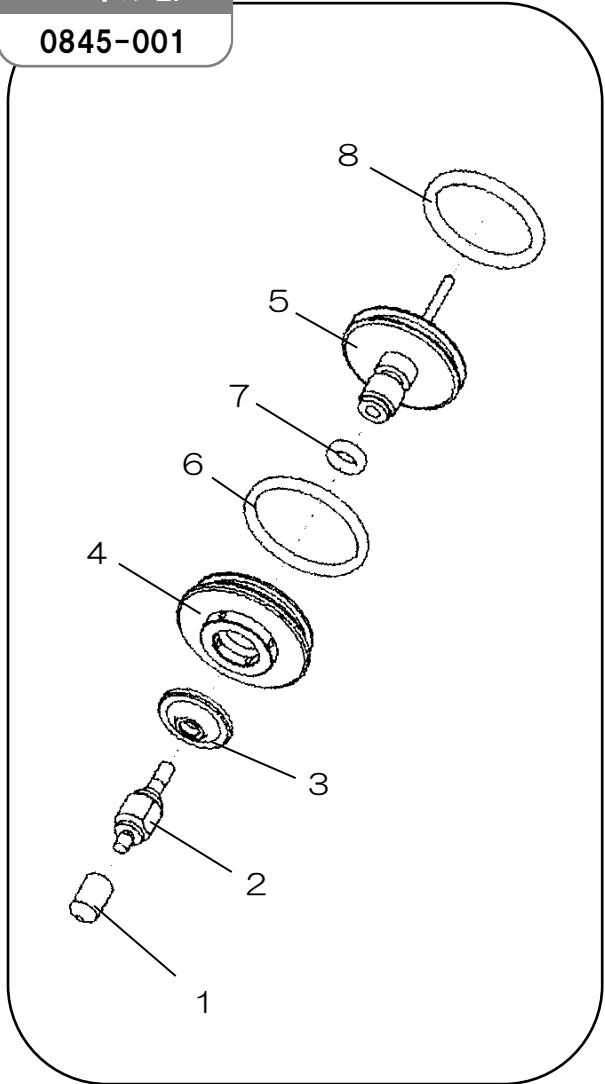
番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0846-001 (0846-101)	ニードル3PA (ニードル3PS)	1	
2	0845-009	シート	1	
3	0845-010	ハウジング	1	
4	0846-011 (0846-111)	ボディ 1A (ボディ 1S)	1	
5	0845-012	シリンダ	1	
6	0845-013	銘板	1	
7	1294-014	スプリング	1	

番号	部品番号	品名	個数	備考
8	155-2010A	バックアップリング	1	
9	130-6004	Oリング	2	
10	384-0600	クイック継手	1	
11	03-80450	六角穴付ボルト	2	
12	03-80470	六角穴付ボルト	2	
13	41-80400	バネ座金	2	

※ () 内はステンレス仕様 0846-1 用

ニードル 2P

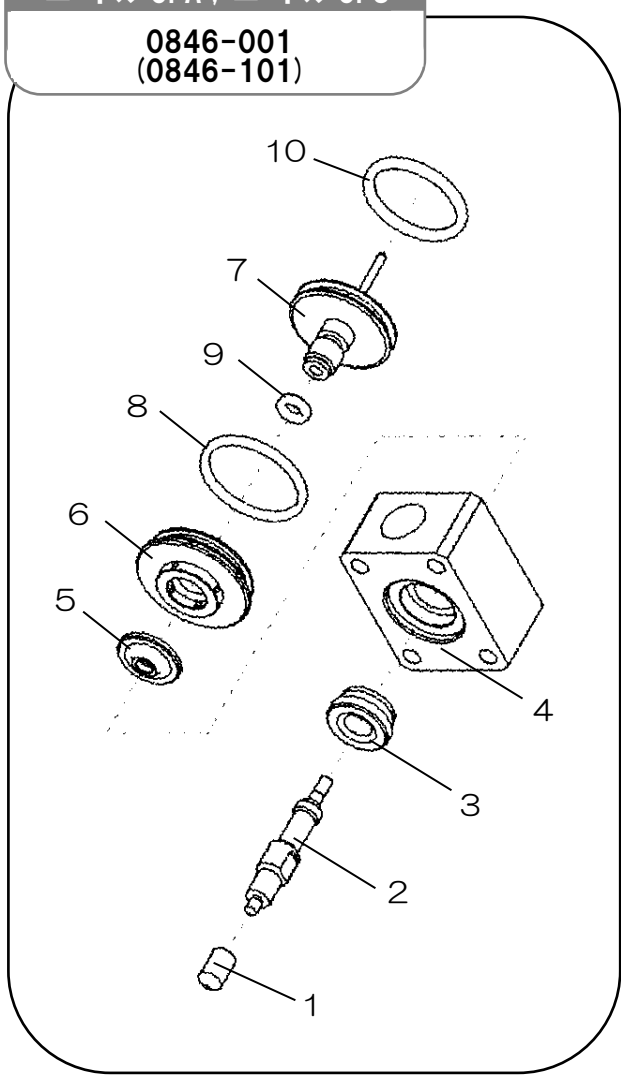
0845-001



番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845-002	ヘッド	1	
2	0845-003	ロッド	1	
3	0845-004	ダイヤフラム	1	
4	0845-005	リテナ	1	
5	0845-006	ピストン	1	
6	130-6024	Oリング	1	
7	101-9005	Oリング	1	
8	101-6022	Oリング	1	

ニードル 3PA , ニードル 3PS

0846-001
(0846-101)

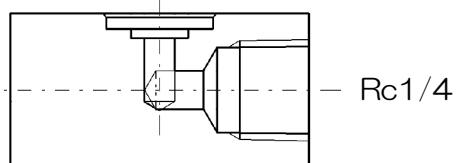
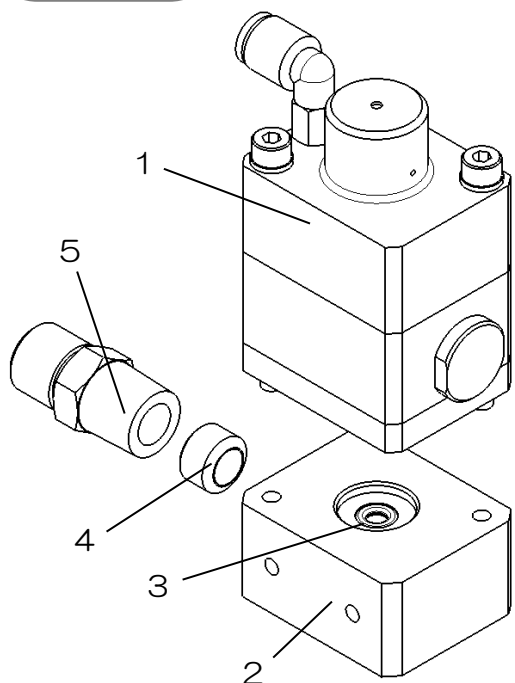


番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845-002	ヘッド	1	
2	0846-003	ロッド	1	
3	0846-004	シート	1	
4	0846-005 (0846-105)	ボディ2A (ボディ2S)	1	
5	0845-004	ダイヤフラム	1	
6	0845-005	リテナ	1	
7	0845-006	ピストン	1	
8	130-6024	Oリング	1	
9	101-9005	Oリング	1	
10	101-6022	Oリング	1	

※ () 内はステンレス仕様 0846-1 用

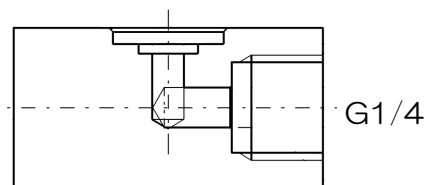
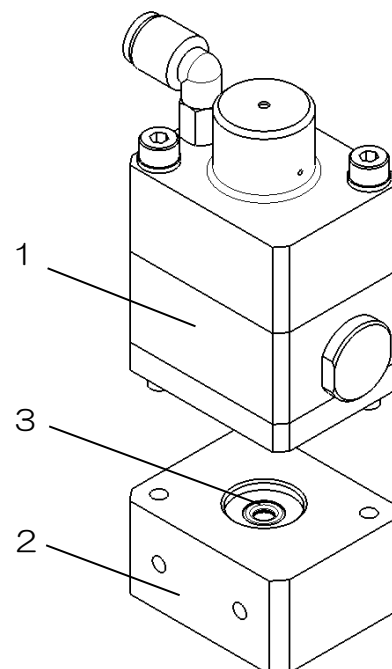
Dバルブ A-R
(Dバルブ S-R)

0847
(0847-1)



Dバルブ A-G
(Dバルブ S-G)

0847-2
(0847-3)



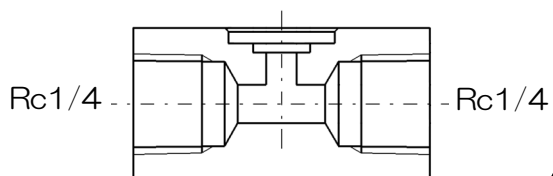
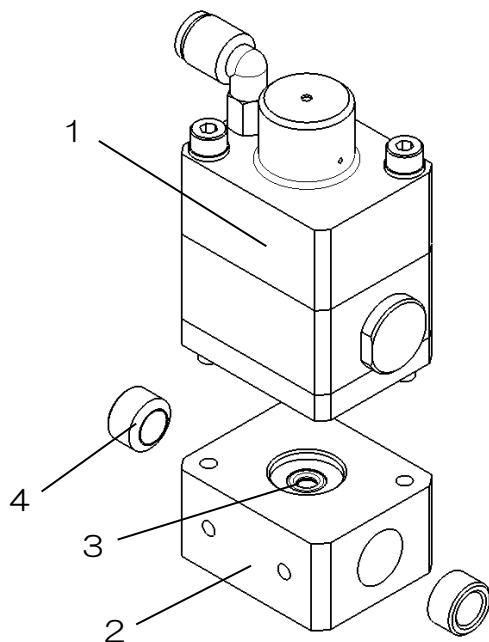
番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	1	
2	3808-014 (3810-014)	マニホールドA1R (マニホールドS1R)	1	
3	130-2005	Oリング	1	
4	4920-031	カラーA	1	
5	347-0001-1 (247-4202)	ニップル (ホースジョイント)	1	

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	1	
2	3808-015 (3810-015)	マニホールドA1G (マニホールドS1G)	1	
3	130-2005	Oリング	1	

※()内はステンレス仕様

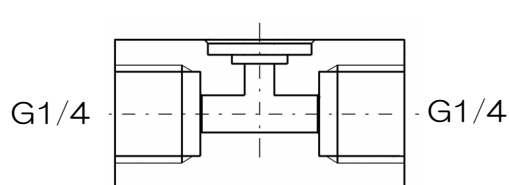
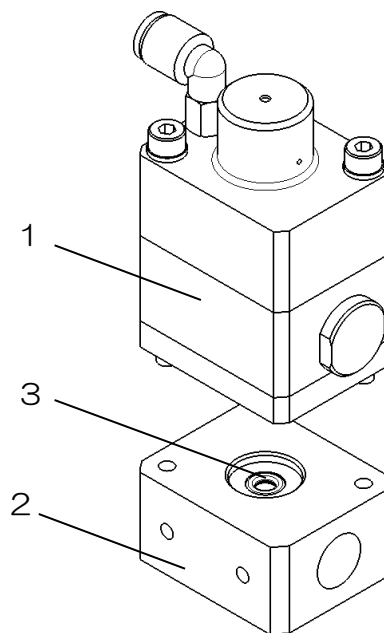
Gバルブ A-R
(Gバルブ S-R)

0848
(0848-1)



Gバルブ A-G
(Gバルブ S-G)

0848-2
(0848-3)



番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	1	
2	3808-016 (3810-016)	マニホールドA2R (マニホールドS2R)	1	
3	130-2005	Oリング	1	
4	4920-031	カラー-A	2	

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	0845 (0845-1)	2PバルブDFA (2PバルブDFS)	1	
2	3808-017 (3810-017)	マニホールドA2G (マニホールドS2G)	1	
3	130-2005	Oリング	1	

※()内はステンレス仕様

【保証内容について】

お買い上げ日から6か月、万が一故障が発生した場合、本保証書に記載の規定により無償修理いたします。

●保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づいて、お客様が正常な状態のもとでご使用になり、万一保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をご依頼ください。当社で点検・調査した後、その故障が材質・製造上の欠陥であると判明した場合は、無償にて故障箇所の修理または取り替えをさせていただきます。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けることがあります。
2. 本製品の故障またはその使用によって生じた本製品以外に及ぼす損害については、当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。
 - (1)保証書のご提示がない場合。
 - (2)お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
 - (3)お客様の使用上の誤り、あるいはお客様による改造、修理に起因する故障および損傷。
 - (4)火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - (5)本製品に接続している当社以外の機器および交換した消耗品に起因する故障および損傷。
 - (6)正常な使用方法でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
 - (7)純正部品以外の部品が使用されている場合。
4. ご不明な場合は、お買い上げの販売店または当社営業所にご相談下さい。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制約するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

- 本機械を譲渡するときは、必ず機械に本書を添付して次の所有者に渡してください。
- 本機械は、日本国内の法規に基づき製作されていますので、日本国内でのみ使用してください。
本機械を日本国以外で使用するときは、その国の安全規格を遵守する必要があります。

令和 5年 3月30日 第9版



塗装FAシステム・機器の総合メーカー

旭サナック株式会社

本社・工場	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1213	FAX(0561)54-8847
塗装技術センター	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1226	FAX(0561)53-2722
東京技術センター	埼玉県桶川市加納224	〒363-0001	TEL(048)773-2121	FAX(048)773-7443
東京支店	東京都千代田区岩本町2丁目18番3号	〒101-0032	TEL(03)5846-9675	FAX(03)5846-9685
札幌出張所	札幌市東区北十二条東14丁目3-8	〒065-0012	TEL(011)712-0927	FAX(011)751-8697
東北営業所	宮城県仙台市若林区伊在1-2-2	〒984-0038	TEL(022)352-9030	FAX(022)352-9040
関東営業所	埼玉県桶川市加納224	〒363-0001	TEL(048)773-2121	FAX(048)773-7443
横浜営業所	神奈川県大和市下和田741番8号	〒242-0015	TEL(046)268-7271	FAX(046)268-7280
東海営業所	静岡県磐田市西貝塚3668-12	〒438-0026	TEL(0538)33-3700	FAX(0538)33-3705
中部営業所	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1213	FAX(0561)54-8847
北陸駐在事務所	石川県金沢市新保本5-86-1	〒921-8062	TEL(076)240-7273	FAX(076)240-7271
大阪営業所	大阪府吹田市垂水町3丁目28番地4	〒564-0062	TEL(06)6386-8105	FAX(06)6386-6771
広島営業所	広島県広島市西区南観音3-16-17	〒733-0035	TEL(082)291-0188	FAX(082)291-0162
九州営業所	福岡県福岡市博多区井相田2-2-5	〒812-0881	TEL(092)582-5155	FAX(092)582-4528
鹿児島出張所	鹿児島県鹿児島市小松原1-10-21	〒891-0114	TEL(099)267-2460	FAX(099)267-6317

令和 5年 3月30日 第9版